

各国の主張内容、EU・米国・中国の動向等、今後注目すべき世界情勢について紹介するとともに、



講演後の質疑応答の様子

日本の温暖化政策の考え方・対応等について説明した。また、資源循環問題に関し、昨今大きな話題となっ

ている海洋プラスチックごみを巡る状況や廃プラスチック全体の有効利用等にかかる日本の対応、EU中心に議論が進んでいるサーキュラーエコノミーの動き等について説明した(本誌12月号に講演要旨を掲載予定)。

また、委員会終了後に、高レベル放射性廃棄物の地層処分について、原子力発電環境整備機構から説明を受けた。

(防災・環境部 亀井 敬)

中経連

ダイジェスト

とよたPR大使 表敬訪問



9月3日(火)、とよた元気プロジェクト実行委員会の三宅委員長(豊田商工会議所会頭)、とよたPR大使をはじめ8名が、豊田市の魅力を紹介するために中経連を訪れ、小川専務理事以下幹部らと懇談した。

とよたPR大使は、ラグビーワールドカップの開催に伴い、名鉄豊田市駅前周辺で行われるおもてなしイベントや、市内の飲食店・小売店向けに作成した外国人旅行者と指差しでコミュニケーションが取れる「外国人おもてなしツール」などを紹介。また、11月からはじまる香嵐溪のライトアップの開催告知とともに、「約4,000本ものモミジが紅葉する圧巻の姿をぜひ見に来てほしい」とアピールした。

(一社)とよたツーリズムの山崎専務理事兼事務局長は、「豊田市は、街なかにはアカデミックやアートなど最新技術を生かしたスポットが多彩にあり、一方、中山間部には小原の四季桜、松平東照宮など自然や歴史を楽しめるスポットが充実している。ラグビーワールドカップを機にさらなる観光振興に努めていきたい」と意気込みを語った。

(総務部 櫻井 景子)

日台経済貿易永続フォーラム

9月5日(木)～6日(金)、台湾・台北市にて開催された「日台経済貿易永続フォーラム」に、小川中経連専務理事が参加した。本フォーラムは、日本の経団連に相当する台湾の経済団体・中華民国工商共進会が主催したものである。



日本からは中経連のほか、経団連、関西・九州・北海道・四国の各経済連合会の代表と会員企業代表者がパネリストとして登壇し、「CPTPPの日本に対する意義」「グリーントレードの新たな契機」「循環型経済の新ビジネスモデル」「持続可能な企業とグローバルチェーン」の各テーマで、台湾の現地企業代表者と意見を交わした。また、台湾側から「台日貿易」「SDGs／CSR」をテーマに講演が行われ、台湾と日本の関係強化および経済交流が図られた。

(国際部 平山 りえ)

インディアナ州知事と中部経済界との懇談会

9月6日(金)、米国・インディアナ州よりエリック・ホルコム知事、ジム・シェリングー商務長官をはじめとする州政府幹部が来名し、豊田中経連会長、山本名古屋商工会議所会頭、ならびに両団体の会員企業代表者と意見交換を行った。

豊田会長は、「インディアナ州と中部圏は、産官の交流が30年以上続いており、2005年以降の現地進出企業投資額は15億ドルを超え、新規雇用は4,700名に上る。また、インディアナ州の治安や住環境は大変良く、教育レベルも高いことから、現地で操業する日本企業からの評価は非常に高い。一方、低失業率による採用難や高度人材の確保が困難といった課題もあるので、引き続き支援をお願いしたい」と述べた。



意見を述べるホルコム知事(左から4人目)

ホルコム知事は、「日本からの対外直接投資はインディアナ州にとって重要である。愛知県とはMOUを結んでおり、経済、文化、教育など、さまざまな分野で盛んに交流している。インディアナ州は、インフラ(鉄道・港・河川・通信)、経済、人材開発、起業や

事業開発の促進に力を入れており、日本企業への助成や現地企業および大学との提携支援も積極的に行っている。これらの成功は長年の交流による双方の価値観の共有と理解によるものであり、今後も一層強固な協力関係を築いていきたい」と述べた。

(国際部 平山 りえ)

東南アジア エアポートセールス

9月8日(日)～15日(日)、栗原中経連常務理事は、大村愛知県知事らとともに、インドネシア、ベトナムなどを訪れ、現地航空会社に対して中部国際空港のエアポートセールスを実施した。

インドネシア

ガルーダ・インドネシア航空のアリ・アスカラCEOと面談。同社は今年3月に中部－ジャカルタ線を開設している。今後の安定的な運航のため、搭乗者増加に向け双方が継続して努力することが確認された。

ベトナム



ベトナム航空との面談の様子

ベトナム航空のリー・ホン・ハ上級副社長と面談。同社は現在、中部－ハノイ／ホーチミン線をそれぞれデیلیー運航中である。面談では、小型機で運航されているホーチミン線の機材大型化や、ベトナム中部の都市ダナンの新規就航を要請した。

ベトジェットエア(LCC)ではグエン・タン・フン副会長と面談し、ベトナム主要都市から中部国際空港への就航を要請した。

(社会基盤部 和田 耕一郎)